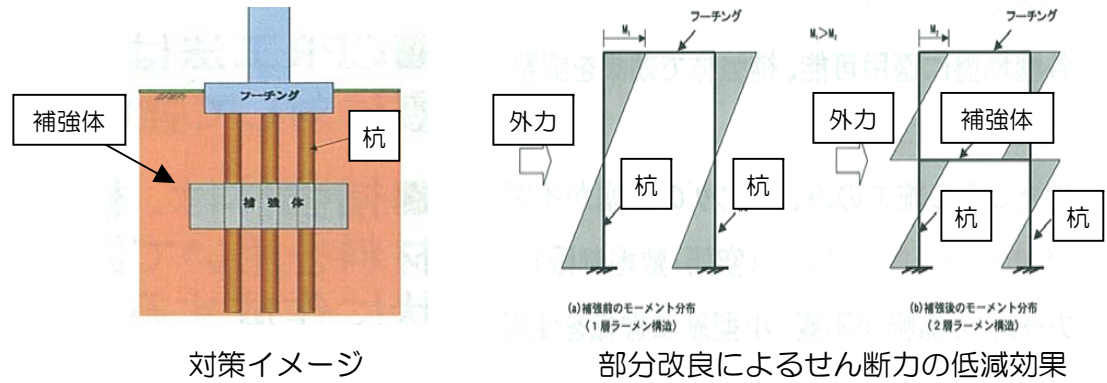


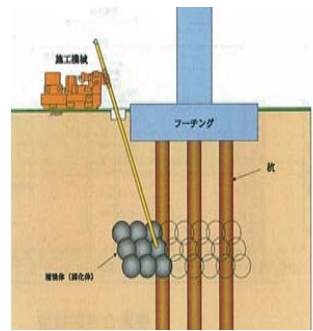
・耐震対策の検討

耐震性能が不足する場合は、基礎地盤の液状化に対しては地盤改良、特殊堤の躯体については、断面補強等を検討します。同時に、構造物の老朽化対策（延命化）の必要性や、ソフト対策（避難経路、応急対策等）も検討します。



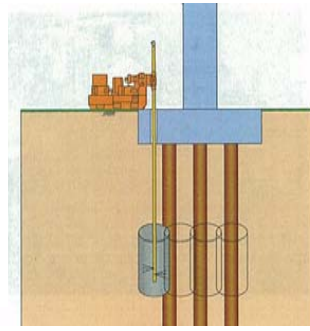
薬液注入工法

- 対象地盤
砂質土
- 特徴
低コスト
斜め施工が可能



高圧噴出工法

- 対象地盤
砂質土、粘性土
- 特徴
高強度
改良効果の確実性



複合地盤杭による耐震対策事例（CPR工法協会HPより）

この度、河川構造物の耐震性能照査指針（案）（河川局H19.3）が策定され、河川構造物の耐震点検・対策が進められることになりました。

河川構造物の中でも、土堤・特殊堤の耐震照査は、土構造物が主体であることから、堤体の物性値や液状化現象を的確に評価する必要があります。

当社では、従来より耐震分野の取り組みを行っており、東海地震に対する耐震対策検討業務では、中部地方整備局長表彰を頂くなど、得意分野としております。

本技術に関する詳しい技術資料を用意しております。下記の事業所、あるいは当社のホームページ <http://www.kge.co.jp> までご請求下さるようお願いいたします。

川崎地質株式会社

北日本支社 技術部 担当：原田、太田
 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 3-4-16(ピレッジ106)
 TEL.022-792-6330, FAX.022-792-6331
 URL : <http://www.kge.co.jp> Mail : ohtas@kge.co.jp

皆様の担当事業所

大規模地震に対する 大河川構造物の耐震診断



川崎地質株式会社

